

# 6 えんだより

認定こども園  
五所川原こども園  
TEL 0173-  
34-2654

主題 考えてみよう

聖句 「見よ、それは極めて良かった。」 創世記1章31節

- 月のねがい
- 1、神さまの恵みに感謝し、イエスさまがいつもともにいてくださることを心に留め、嬉しい時も悲しい時も祈る
  - 2、疑問に思ったことを考え調べ、友だちや保育者と意見を出し合いながら興味をもったことに取り組む
  - 3、雨や雲、雷などといった自然の変化や、梅雨期の特有な自然現象、生き物、植物に目を向け興味や関心を深める

旧約聖書の始めには、「創造物語」が記されています。「初めに、神は天地を創造された」という言葉で始まっているように、天も地も、この地球上に生きるすべての生き物も、神さまが造られたものだと言っています。そして、宇宙を埋め尽くすすべての天体を含めて、この地球上にある被造物すべてをご覧になって、神さまが思わず口にした言葉が「見よ、それは極めて良かった」というものでした。私たちが今生きている世界は、美しいと言えるでしょうか？確かに「美しい」と言える時もあるけれど、そう思えない時もあります。私たちを取り巻く世界の環境は私たちの人間のせいで、どんなふうになってしまっているのでしょうか。

創世記 1 章の創造物語の中にこうあります。「地は草を芽生えさせ、それぞれの種を持つ草と、それぞれの種を持つ実をつける木を芽生えさせた。神はこれを見て、良しとされた・・(略)・・神はそれぞれの地の獣、それぞれの家畜、それぞれの土を這うものを造られた。神はこれを見て、良しとされた」。草や木、小さな生き物に対する子ども達の眼差しは、私たち大人をはるかにしのぐ真剣さを持っています。子ども達にとっては、草や木の実、葉っぱ一枚が宝石のように美しく感じられ、ダンゴ虫やカタツムリなどは、愛しい友人のような存在です。すべては神さまが造られたものであり、その本質の中に愛や美しさを秘めている。子ども達は、その感性によって、本能的にそれを感じ取っていると言えるでしょう。大人が見向きもしないような葉っぱや石ころの素晴らしさに興味を惹かれるのです。「見よ、それは極めて良かった」との神さまの感嘆の言葉に、最も近い存在なのです。そんな感性を大切にしていきたいものです。私たちもこの世界にちりばめられた美しさや素晴らしさを子ども達と共に味わいたいものです。

## 6月の予定

- 4日(木) 交通安全教室  
・横断歩道の渡り方、浅草焼前
- 12日(金) 花の日・子どもの日礼拝  
・消防署訪問(ひまわり組)
- 15日(月) エルムの街交番訪問  
・大きいひまわり組
- 18日(木) 「からだところの健康教室」  
・ひまわり組対象
- 24日(水) お誕生会
- 25日(木) 総合避難訓練  
職員会議

### <花の日・子どもの日礼拝の由来>

1856年にアメリカのレオナード牧師が、子ども達が信仰生活に入るために、また、その両親が子どもを神に捧げる日として6月第2日曜日に特別礼拝を持ったのが最初です。その後、1870年に、マサチューセッツ州ローエル市の牧師が「シャロンのバラの日」と名付けて、子ども達が花のようにすくすくと育つことを願って祝福し祈り、花を子ども達に手渡して礼拝を守ったことから、この日を「花の日・こどもの日」としてキリスト教の教会で守られて、次第に幼稚園・保育園・学校で守られるようになりました。

### <ねらい>

- ・神さまや人々から愛されていることを知り感謝する。
- ・花の美しさに気づき、大切に扱う。
- ・花も人も神さまから与えられて成長していることに気づく。

※12日の朝、お庭に咲いているお花を少し持って来て下さるようお願いいたします。持ち寄ったお花を礼拝堂に飾り、感謝の礼拝を捧げます。



### おたんじょうびおめでとう!

あずちゃん  
あみちゃん  
きょうくん

### <子ども達の安全確保についての取り組み>

交通安全教室を5月は園庭で道路の正しい渡り方。6月は横断歩道の渡り方、信号の見方、交通安全について、エルムの街交番の警察官に来園してもらい教えていただきます。

(お散歩コースは毎月1回点検を行っています)



### <消防署・交番訪問>

- 花の日・子どもの日礼拝後に
- いつもお世話になっている五
- 所川原消防署へ12日、エルム
- の街交番へ15日、ひまわり組
- の子ども達がお花をもって訪
- 問し感謝の気持ちを伝えてき
- ます。

